

## 特別勘定クォーターレポート

## スイス年金

新変額個人年金保険(無配当)

## ユニット・プライスの推移



※ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。

## 参考 主な投資対象の投資信託の運用状況(出所:アパディーン投信投資顧問株式会社)

## 世界バランス・ファンド(適格機関投資家専用)

## ■ 基準価額の騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年
世界バランス・ファンド	0.76%	0.78%	10.01%	3.05%	7.07%

## ■ 資産別構成比

	ファンド	複合指数 (参考データ)	ベット
<b>株 式</b>	50.93%	50.00%	0.93%
北米地域	31.36%	31.69%	-0.33%
欧州(除く英国)	9.25%	8.45%	0.80%
英国	2.01%	3.27%	-1.26%
日本	5.77%	4.28%	1.49%
香港・シンガポール	0.83%	0.88%	-0.06%
豪州・ニュージーランド	1.72%	1.42%	0.30%
<b>債 券</b>	48.57%	50.00%	-1.43%
米ドル圏	19.61%	20.03%	-0.42%
欧州(除く英国)	15.61%	16.35%	-0.74%
英国	2.92%	2.81%	0.11%
日本	10.43%	10.82%	-0.39%
<b>現 預 金</b>	0.50%	0.00%	0.50%
<b>合 計</b>	100.00%	100.00%	0.00%

## ■ 通貨別構成比

	ファンド	複合指数 (参考データ)
米ドル圏	52.73%	51.75%
ユーロ圏	21.81%	23.12%
イギリスポンド	6.08%	6.08%
豪ドル(含NZD)	2.57%	2.28%
スイス・フラン	1.89%	1.67%
日本円	14.92%	15.09%
<b>合計</b>	100.0%	100.0%

\* 複合指数はMSCI Worldインデックスの50%、シティ世界国債インデックスの50%を加重平均した指数

特別勘定の名称	グローバルマーケット型
主な運用対象の投資信託	世界バランス・ファンド (適格機関投資家専用)
投資信託の運用会社	アパディーン投信投資顧問株式会社

## ユニット・プライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
0.63%	0.48%	8.98%	1.77%	3.21%	45.40%

## 特別勘定資産内訳

	構成比(%)
現 預 金	4.3%
投 資	95.7%
合 計	100.0%

## ■ 上位10銘柄

(総組入れ銘柄数 155)

株 式	国名	業種	投資比率
ORACLE CORP	アメリカ	情報技術	1.72%
ROCHE HLDG AG	スイス	ヘルスケア	1.64%
NOVARTIS AG-REG	スイス	ヘルスケア	1.63%
BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC	イギリス	生活必需品	1.59%
VISA INC	アメリカ	情報技術	1.41%
EOG RESOURCES INC	アメリカ	エネルギー	1.39%
VODAFONE GRP PLC	イギリス	電気通信サービス	1.29%
PHILIP MORRIS INTL	アメリカ	生活必需品	1.21%
CVS HEALTH CORP	アメリカ	生活必需品	1.21%
WHITBREAD PLC	イギリス	一般消費財・サービス	1.16%
合計			14.26%

債 券	クーポン	償還日	投資比率
アメリカ国債	2.125	2025/05/15	2.75%
アメリカ国債	1.375	2020/08/31	2.48%
フランス国債	0.000	2020/05/25	2.46%
イタリア国債	0.700	2020/05/01	1.93%
アメリカ国債	2.500	2045/02/15	1.65%
ニュージーランド国債	6.000	2021/05/15	1.45%
オーストラリア国債	1.750	2020/11/21	1.43%
ドイツ国債	0.000	2021/10/08	1.33%
スペイン国債	1.600	2025/04/30	1.28%
ドイツ国債	0.500	2025/02/15	0.97%
合計			17.74%

※当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。  
※その他、3/3ページの「ご注意いただきたい事項」等を必ずご参照ください。

## ■運用コメント

### 市場概況

#### ・日本株式

(1月) 円高傾向となったことで、主力株を中心に上値の重い相場が継続しました。

(2月) 続伸基調ながら全般に大型株の上値が重くなる一方、前月に続き中小型株の上昇が目立ちました。

(3月) 東証株価指数は月間ベースでは2016年9月以来6カ月ぶりに下落しましたが、東証2部株価指数は9カ月連続の上昇となるなど中小型株物色の動きは継続しました。

#### ・日本債券

(1月) 米国金利の上昇や日銀の国債買い入れの先行きに対する不透明感などから、月後半にかけて長期金利がやや上昇する展開となりました。

(2月) 日銀が長期国債に初の指値オペを実施したことを受けて買い安心感が広がり、利回りは低下に転じました。

(3月) 日銀がイールドカーブ・コントロールを続ける姿勢を示していることから狭いボックス圏での動きが継続し、月末の10年債利回りは前月比0.014%上昇して0.070%となりました。

#### ・外国株式

(1月) 米国ではダウ工業株30種平均が月中に初の2万ドルを超えて堅調、欧州ではほぼ変わりませんでした。

(2月) 米国で法人減税への期待等から各種指標が最高値更新するなど堅調、欧州でも上昇しました。

(3月) 米国では低迷したものの、安定基調にある世界経済を反映して英国や欧州、新興国では底堅い動きとなりました。

#### ・外国債券

(1月) 英国や欧州を中心に先進国で利回りがやや上昇しました。

(2月) 欧州を中心に先進国で利回りがやや低下、3月の利上げが予想される米国は変わりませんでした。

(3月) 先進国の長期金利が米国FOMCを控え一時上昇した後に、月末には戻りました。

#### ・為替

(1月) トランプ新政権による米ドル高是正が警戒されて円やユーロは反発し、過去3カ月の下落から一服しました。

(2月) 欧州でギリシャ支援協議や主要国での重要な国政選挙への懸念から、ユーロが下落しました。

(3月) 米国の利上げ一服から米ドルは下落し、EUからの離脱を正式に通告した英ポンドは堅調でした。

### 運用概況

・今四半期(2017年1月～3月)のファンドのパフォーマンスは、基準価額ベースで+0.78%となりました。月別に見ると1月が-0.64%、2月が+0.66%、3月が+0.76%となります。円は主要通貨に対して上昇したことで外貨建ての資産にとって為替はマイナスに働いたものの、債券はほぼ変わらず、株式は日本を除き世界的に前四半期から更に高値が続くなど、基準価額は僅かに上昇しました。

・今四半期のパフォーマンスは、ベンチマークを上回りました。その主なプラス要因となった銘柄選択効果は、株式部門では多くの地域でリターンがベンチマークを超過し、米国では1年ぶりにアウトパフォームへ回復、英国もタバコ製造銘柄の株価が大幅上昇するなど好転しました。債券部門ではユーロ圏でドイツのデフレーションを機動的に変動させるなどプラスの貢献となりました。資産および地域配分効果は全体としてはほぼゼロですが、株式では世界的な中小型、エマージング市場への注目から新興国への配分は大幅なプラスに寄与しました。為替は、概ね中立のポジションにより影響は限定的でした。

・今四半期の資産配分について、株式と債券の配分は運用方針に従い株式市場の上昇もあって、やや株式に比重を置きました。株式について、引き続き日本をオーバーウェイトし、英国を大幅にアンダーウェイト、新興国市場にも投資を継続しています。債券については、米ドル圏において先物を用いたオーストラリアへの投資から、ニュージーランド国債へと振り替えました。為替に関しては、米ドルのオーバーウェイトを意識しつつも、米ドル安により中立に近くなりました。

### 運用方針

・大きな割高感・割安感ともないものの、わずかに株式をオーバーウェイト、債券をアンダーウェイトにする予定です。

・株式については日本に加えて新たに欧州(英国除く)をオーバーウェイトとする一方、英国および米国のアンダーウェイトを継続する方針です。

・債券については現預金相当分も含め日本に加えて新たに欧州(英国除く)をアンダーウェイトとする方針です。

・為替に関しては金融政策の方向性の違いからわずかに米ドルをオーバーウェイト、ユーロおよび円をアンダーウェイトとする予定です。

※当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

※その他、3/3ページの「ご注意いただきたい事項」等を必ずご参照ください。

## 当資料はアクサ生命が新変額個人年金保険「スイス年金」の特別勘定について運用状況などを報告する資料です

### ご注意いただきたい事項

#### ▲ 投資リスクについて

この保険の据置(運用)期間中の運用は特別勘定で行なわれます。特別勘定資産の運用実績に基づいて年金額、死亡給付金額および解約払戻金額等が変動(増減)します。特別勘定資産の運用は、株式および公社債等の価格変動と為替変動等に伴う投資リスクがあり、運用実績によってはお受け取りになる年金額や解約払戻金額の合計額が一時払保険料を下回ることがあります。これらのリスクはすべてご契約者に帰属します。

#### ▲ 元本欠損が生じる場合があります

解約の時期、被保険者の契約年齢等の諸条件により、ご契約者等が受け取る金額の合計額が、お払込保険料の合計額を下回る場合もあります。

保険会社の業務または財産の状況の変化により、年金額、死亡給付金額、解約払戻金額等が削減されることがあります。

#### ▲ 諸費用について

契約初期費	一時払保険料に対して <b>5.0%</b> を特別勘定繰入前に控除します。
保険関係費	特別勘定の資産総額に対して(年率 <b>0.75%</b> +運用実績に応じた費用 <sup>(※)</sup> )/365日を毎日控除します。 ※運用実績に応じた費用:運用実績を毎日判定し、実績が年率 <b>1.5%</b> を超過した場合のみ、 <b>超過分1%あたり0.1%(上限1.25%)</b> を控除します。
年金管理費	年金支払開始日以後、支払年金額の <b>1%</b> を年金支払日に控除します。
資産運用関係費	グローバルマーケット型 <b>年率0.7344%程度</b>

資産運用関係費は将来変更されることがあります。

その他お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金がかかりますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。

### その他ご留意いただきたい事項

- 当資料は、特別勘定の主な投資対象である投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- 新変額個人年金保険「スイス年金」は、生命保険商品であり投資信託ではありません。また、ご契約者様が直接投資信託を保有されている訳ではありません。
- 新変額個人年金には複数の特別勘定グループが設定されており、「スイス年金」には「特別勘定グループ(TS型)」が設定されています。保険料繰り入れおよび積立金の移転は「特別勘定グループ(TS型)」に属する特別勘定に限定されます。「特別勘定グループ(TS型)」以外の特別勘定グループに属する特別勘定への保険料の繰り入れおよび積立金の移転はできません。
- 特別勘定および特別勘定の主な運用対象となる投資信託の内容が変更されることがあります。
- 特別勘定資産の運用実績は、特別勘定が主な投資対象とする投資信託の運用実績とは異なり、一致するものではありません。これは、特別勘定は投資信託のほかに、保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることや、積立金の計算にあたり投資信託の値動きには反映されていない保険にかかる費用等を特別勘定資産から控除していることなどによるものです。
- ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で、各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。

新変額個人年金保険(無配当)「スイス年金」は現在販売しておりません。

#### [募集代理店]

株式会社東京スター銀行



東京スター銀行

0120-330-655

(平日 9:00~21:00 土日祝 9:00~17:00 年末・年始を除く)

ホームページ / <http://www.tokyostarbank.co.jp>

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

TEL 0120-933-399

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>